

第5回府中市農業振興計画策定検討協議会 報告書

1. 会議名 第5回府中市農業振興計画策定検討協議会
2. 開催日時 平成26年10月21日(火)
午後2時30分～4時10分
3. 開催場所 府中市役所府中駅北第2庁舎2階会議室
4. 出席者
委員 宇留間会長、石阪副会長、川崎委員、竹田委員、
千金楽委員、内藤委員、中里委員、中島委員 8名
(欠席：北沢委員)
事務局 石川主幹、大木係長、横田事務職員

傍聴者 1人
5. 議事日程 (1) 第4回報告書の確認
(2) 協議
ア 第3次府中市農業振興計画(素案)の最終確認
について
(ア) 目次、第1章、第2章、第3章
(イ) 第4章
(ウ) 第5章
(エ) 第6章、資料
(3) その他

《第5回協議会議事録（要旨）》

（会長）

それでは、中島委員さんは所用により少し遅れるということなので、定刻前ではございますが、第5回府中市農業振興計画策定検討協議会を開催させていただきます。

それでは、事務局より連絡事項がございましたら、お願いいたします。

（事務局）

はい、ただいま会長より中島委員が遅れるとのご報告がありましたが、北沢委員さんからは、公務のため欠席というご連絡が入っております。

本日の出席状況は、7名で過半数を超えており、定足数に達していることから、本日の会議は有効に成立していますことをご報告いたします。また、本日の傍聴者の方は、1名となっております。以上です。

（会長）

はい、ありがとうございます。それでは、まず事務局から、配付資料の確認をお願いします。

<事務局から配付資料の確認>

（会長）

はい、それでは議事次第に従って、進めてまいります。まずは第4回報告書について、事務局から説明願います。

<事務局説明、内容の修正は10月28日（火）までに事務局に連絡することを依頼>

（会長）

事務局から説明がございましたが、各自ご自分の発言のところを確認していただいて、訂正がございましたら、期日までに、事務局へ連絡をお願いいたします。欠席の委員さんにつきましては、事務局から伝えてください。

それでは、次第の2、協議に入ります。（1）「府中市農業振興計画（素案）の最終確認について」を事務局より説明をお願いします。

<事務局、資料1素案の第1章から第3章を説明>

(会長)

事務局から説明が終わりました。前回から修正を加えている箇所の説明でしたが、皆さんの方で何か気付いた点などございますでしょうか。

(委員)

資料の統計数字ですが、年と年度を使っていますが、どのように使い分けているのですか。

(事務局)

例えば農地面積等は1月1日時点の各年の統計数字なので、年で表し、生産量や作付面積等年間を通して積重ねたものの統計については年度を使用しています。混在しているところもあるので、事務局で文言整理をさせていただきます。

(会長)

そうでしたら、委員さんから年と年度に関してのご意見がありましたけど、扱いについては、私と副会長と事務局に一任していただければと思いますが、如何でしょうか。(はいの声)

そうですね、この件については、事務所と対応をしたいと思います。

他に、何かございますでしょうか。

(委員)

3ページの農地面積の割合ですが、括弧でくくって注意書きで説明を加えた方が見やすいと思います。

もう一点、表に関しては、通し番号を付していますが、図やグラフは計画書作成にあたり何か決まりがあるのですか。なければ、図、グラフの明確な区分けがないようですし、一般的は図のタイトルは図の下に、表のタイトルは表の上に表示すると理解しています。統一されていれば問題ないと思います。

(会長)

図や表はもう一度事務局で確認していただき統一してください。

(事務局)

はい。

(会長)

次に進めさせていただきます。第4章の府中農業の振興についてを事務局から説明してください。

<事務局、資料1素案の第4章を説明>

(会長)

はい、ありがとうございます。事務局からの説明が終わりました。前回から修正を加えた箇所の説明でしたが、ここまでで皆さんの方で何か気づいた点などございますか。

(委員)

すいません、確認なんですけど、26ページの7年先の農業従事者数が2.3人で、9ページの家族労働の項の平均農業従事者数の平成25年度が2.2人となっています。その違いはなんですか。

(事務局)

2.2人が正しい数字です。

(委員)

あと、7年先の農家数と農業従事者の目標数ですが、単純に戸数に2.2人を掛けると1,000人を超え980人とは合わないのですが。

(事務局)

減少率で積算していますので、誤差がでています。

(委員)

そうしますと、文書を読んでいくと表と合わなくなるので、整合性を持たせたほうが良いと思います。

29ページの経営モデルの設定の文章中、「次に掲げる経営モデル4を指標とします」は、「④」になると思います。①の農業生産法人の所得目標5,000万以上は実際あると聞いていますが、200アールの経営面積と労働力4人では、5,000万は難しいと思いますが。

(事務局)

先ほどの26ページの目標値は、後ほど事務局で精査いたします。

(委員)

28ページの(5)農業経営の改善の4行目「更新を進めるとともに」と6行目頭の「または」は文章としてうまく伝わらないと思うので、他の表現をした方が良いと思います。仮に「更新を進める」で文を切るとするとその前の「また」もいらぬですね。

同じ28ページの上から6行目、年間農業所得の目標は「おおむね年間1,000万円、経営規模の拡大や」となっていますが、「おおむね年間1,000万円とします。」と一度文を切り「経営規模の拡大や」とした方がすっきりすると思います。

その上の「取り入れるとともに」で繋いでいるのを「取り入れる」で切った方が良いと思います。

(会長)

それでは、こちらにつきましても、正副会長と事務局に一任していただければと思いますが、よろしいでしょうか。(はいの声)

次に第5章の市民の笑顔をつくりだす新しい農業について、事務局から説明してください。

<事務局、資料1素案の第5章を説明>

(会長)

はい、ありがとうございました。こちらについても、前回から修正を加えた箇所の説明でしたが、皆さんの方で何か気づいた点がありましたらお願いします。

(委員)

33ページの冒頭2行目「その次に」という表現は、ニュアンス的に次の次にともとれるので、この接続詞を滑らかに繋がる表現にしてほしいと思います。同じ行の「前提」もそのとおりですが、別のやさしい言葉があれば変えた方がいいかもかもしれません。

(委員)

出だしを生かし「前提」という表現がきついというのであれば、「…農業経営が展開されることで実現されます。そして…」というのはどうでし

よう。

(委員)

最初の「農業の振興は」を取るバージョンにすると、「…農業経営が展開されることは（が）農業体験をはじめとする…」ということでもいいのかなと思います。最初に「農業の振興は」とあると重い感じもするので…。

(委員)

ここは、心臓部でもあるので少し強めでも良いのかなという気きもします。このままでも良いという気もしています。

(委員)

そうですね。「前提となります」まではそのままにして、「その次に」を「さらにそれは」というのはどうですかね。

(委員)

1行目「農地で産業としての農業経営が展開される」を「農業経営が産業として展開される」にした方が良くなりませんか。

(会長)

それでは、こちらにつきましても、今の議論を踏まえ、正副会長と事務局に一任していただければと思いますが、よろしいでしょうか。(はいの声)

次に第6章に移らせていただきます。

第6章「農業振興計画の実現に向けて」と、今回追加された「資料」について事務局から説明をよろしくお願いします。

<事務局、資料1素案の第6章を説明>

(会長)

はい、事務局より説明がおわりました。6章は、前回から修正を加えた箇所と追加資料の説明でしたが、委員の皆さんの方で何か気づいた点がありましたらお願いします。

(委員)

すみません、58ページの第3条(6)は職員でなく組合員なので、訂

正をお願いします。

(委員)

認定農業者の人数が載っていませんよね。載せた方が良いと思いますが。

(事務局)

確かに載せていませんでした。これからの農業の担い手として期待されていますので、認定農業者やエコファーマーを支援するという項目に人数を記載します。

(委員)

認定農業者を中心に市でも支援していくと思うので、過去の推移も含め載せていただくようにお願いします。

(委員)

ただいまの認定農業者やエコファーマーを支援する説明文の2行目「認定は5年間で」は「認定期間は5年間で」が正しいですよ。

(事務局)

そのとおりです。後ほど訂正します。

(委員)

第6章の導入部分①から⑧の順番は、何か意味があって決めたのですか。①、②、③は実際現場で実施するもので、市の役割や農業委員会の役割が後のほうに出てくるので、流れとしては、④あたりに入れて、その後に国、都といった方が良いと思いますが。

(事務局)

そうですね。順番は決まっているわけでもないの、改めて考えます。

(委員)

このままだと、今までと何も変わらないと思います。この計画を推進するのに、農政係の人数が今までと同じだとすると、人数が少ないと感じています。手伝うという意味から、ボランティアでもいいから計画推進協議会を作ったらどうですか。

(事務局)

計画の推進にあたっては、全部の施策を同時に行うことは不可能であり、どの計画においても、優先順位を付けて実施していくことになります。優先順位は、市の内部で執行態勢、予算状況や国、都の動向を踏まえながら付けていく予定です。したがって、現段階では推進協議会は作りませんが、今後、施策を実施していく段階で、皆さまのご協力を得る場面があれば、改めてお願いする予定です。以上のことから、この計画書では協議会の設置は記載しておりません。

(委員)

私は推進体制の確立の中に51ページ(1)の6行目「率先して行動していくように進めます。」を「率先して行動していくように計画推進協議会を作り進めます。」と協議会を作ることを謳って、確実に実施してほしいと思います。

(事務局)

記載しますと、必ず、これは「いつまでに」「どのように」やるのかということになってしまいます。現段階では、7年間の基礎を謳っていて、個々の施策を実施する段階で肉付けしていくのが弾力的でいいのかなと思っています。

(委員)

日野市や国立市はそういう協議会を持っていて、こういう計画でやりますというのがあって、それを進める協議会となっているので、府中でもあるといいと思います。

(委員)

この基本計画に関しては、基本の考え方の部分だけで、実行計画になると、その協議会の設立とかそういう話になると理解しています。

この計画は、府中市の農業における基本的な考え方となっているので、基本的な考え方の中に踏み込んだ具体的なことを入れないのが普通というかオーソドックスな形だと思います。基本計画の最後にきちっと書いてあるのでこのままでよいと思います。次に、これを実行していく計画の時にそのような話になると思っています。

(委員)

第2次計画の時に実行計画はなかったじゃないですか。

(事務局)

皆さんにお示しするようなものはありませんでしたが、庁内では関係課長が集まり実施していました。そして、種々の施策を行いました。そこでは、推進の組織を作るようなことはやっていませんが、成果の一つとして、農地の減少が計画より鈍化したことだと思います。

今回の計画の中にある農業公園は、実施するのがかなり難しいと予想されますので、そのようなものを具体化する時には、形は不明ですが皆さまのお力をお借りする場面があると思っています。

ただ、今後、庁内合意、パブリックコメント、議会の同意などの手続きを得ていきますので、細部まで決めてしまわない方が良いと考えているところです。

(委員)

農業公園というと、農業のみならず、防災上の避難場所とか延焼を食い止める空間とか、いろいろ機能を持たせる必要があると思います。

(事務局)

そういうこともありますので、この計画では基本的なことだけを決めて、皆さんの意見で作りあげるといった形に重きをおきたいと思っています。

そして、今後の社会情勢に対応できるようなものにしておきたい思いがございます。

(会長)

それでは、皆さまよろしいでしょうか。

はい、計画素案についての協議を終了とさせていただきます。次に、その他について事務局の方から説明をお願いします。

(事務局)

はい、資料2、第3次府中市農業振興計画（案）パブリックコメントについてご説明いたします。

今回、府中市農業振興計画策定検討協議会からご報告をもとに、市では、第3次府中市農業振興計画（案）を作成し、広く市民からの意見を募集、パブリックコメントを実施します。

実施期間としましては、平成26年11月中旬から12月中旬までの3

0日間。事務局としましては、11月19日から12月18日までを考えています。

計画（案）の閲覧場所としましては、府中市役所4階経済観光課、市政情報センター、中央図書館、各文化センター、市のホームページとなります。

意見の提出方法としましては、締切日までに、住所、氏名、意見を記入して、経済観光課へ持参、もしくは郵送、FAX、電子メールにて提出。また、中央図書館・各文化センター・市政情報センターへの持参もできます。

その後、資料にはございませんが、市民の意見を集約し、農業振興計画（案）を作成し、東京都との協議を経て、策定となり、議会へ報告します。そのあと、市民の皆様公表という形になります。

説明については以上でございます。

（会長）

事務局の説明が終わりました。今後のパブリックコメントやその後の進め方について、ご質問ございますか。（…）

それでは、よろしいでしょうか。

では、今日の検討を踏まえまして、最終報告を、会議終了後、石阪副会長と、会長の私で、市長に提出してまいります。

最終報告については、また追って事務局から委員の皆様へ送ってまいります。

（事務局）

はい、パブリックコメントの実施などと併せて、委員の皆様へお送りいたします。

（会長）

本来であれば、最後に、委員さん一人一人に簡単に感想をお願いするところがございますが、これから市長さんに報告書をお持ちする時間がせまっておりますので、省かせていただきまして、第5回府中市農業振興計画策定検討協議会を閉会とさせていただきます。

委員の皆様には、長期間に渡り、ご協力ありがとうございました。私と石阪副会長は、この後の報告書の提出をもちまして、正副会長の任を終らせていただき、それ以降のことに関しては事務局に引き継ぎいたします。

(事務局)

宇留間会長、石阪副会長、並びに委員の皆様には、長期間に渡りご尽力を賜り、誠にありがとうございます。府中市農業振興計画策定検討協議会を終了するにあたり、経済観光課農政担当主幹から皆様にご挨拶申し上げます。

(農政担当主幹)

事務局を代表してお礼とご挨拶をさせていただきます。

委員の皆様には長期間に渡り、ご協力とご尽力をいただきありがとうございます。

毎回毎回、皆様から、たいへん貴重なご意見、ご感想を拝聴させていただきました。これからご報告いただく素案については、皆さまの意見を反映した計画（案）であると思います。今後、パブリックコメントを経て、東京都へ協議し、議会へ報告していきます。

市民の笑顔をつくり出す 新しい府中の農業 のため、職員一同、気を引き締めて業務を進めさせていただきたいと思います。

長い間ありがとうございました。

(事務局)

それでは、以上をもちまして、終了させていただきます。

なお、本日の会議録の要旨につきましては、後日、ご送付させていただきます。

大変お疲れ様でした。